

## 琉球大学農学部附属亜熱帯フィールド科学教育研究センターが 沖縄県内初となる畜産GAPの認証を取得

琉球大学農学部附属亜熱帯フィールド科学教育研究センターが2021年3月1日付けで、畜産部門のJGAP認証を取得しました。

GAPは、Good Agricultural Practicesの頭文字をとった言葉で、一般的には「農業生産工程管理」と呼ばれています。工程管理とは、農産物を作る際に適正な手順やモノの管理を行い、食品安全や労働安全、環境保全等を確保する取り組みのことです。

GAPに取り組むことによって、生産された農産物の安全だけでなく、自然環境の保全、生産者の労働安全や人権の保護、畜産の場合には動物福祉（アニマルウェルフェア）にも配慮し、持続可能な農産物の供給を実現することにつながります。

また、東京オリンピック・パラリンピックでは、選手村などで提供される料理にGAPの認証を受けた農産物のみが使われることになり、GAPが注目されるようになりました。

しかし、耕種部門と比べて畜産部門では取り組みが遅れているのが現状であり、今回、琉球大学農学部附属亜熱帯フィールド科学教育研究センターが取得したJGAP認証が畜産部門では沖縄県内初の国際的に通用するGAPの認証取得となります。

また、全国的にみても大学で畜産部門のGAP認証を取得しているところは、宮崎大学と宇都宮大学だけですので、琉球大学が3校目です。

亜熱帯フィールド科学教育研究センターでは2018年にGAPの取り組みをはじめ、沖縄県畜産振興公社など関係者の協力を得ながら、3年間をかけてJGAPの認証取得に至りました。

今後は学生の教育はもちろんのこと、沖縄県内における畜産農場のモデルとしてGAPの普及に取り組んでいきたいと考えています。



**JGAP**  
認証書

琉球大学農学部附属  
亜熱帯フィールド科学教育研究センター

沖縄県中頭郡西原町千原1番地

認証品目・工程：肉用牛  
飼養工程・自給飼料生産工程

認証登録番号：L470000001

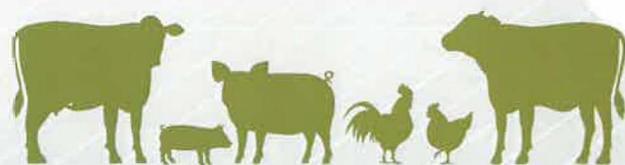
認証基準：JGAP農場用管理点と適合基準【家畜・畜産物】2017

審査基準：JGAP農場用管理点と適合基準【家畜・畜産物】2017

初回認証日：2021年3月1日

有効期限：2023年2月28日

上記経営体がJGAP認証を取得したことを証します。



JGAP家畜・畜産物 2017

**JGAP**

「食」の安全と信頼を科学でサポートする



SMC登録番号 093

エス・エム信託株式会社 神奈川県厚木市上古沢1816



代表取締役 村田 知

